

ポストコロナの時代も、 機能を果たし続ける九州工大

九州工業大学 学長 尾家 祐二



あけましておめでとうございます。

明専会および会員の皆様方には、
本学の教育研究活動への格別のご理
解並びに多大なるご支援を賜り誠に
厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大によ
り、世界経済も私たちの生活も大き
く変化しました。本学でも、この変
化に対応する施策を、学生にとって
何が最良なのかを最優先に考え続け
て参りました。

学生のワクチン接種に関しては、
北九州商工会議所様のご協力や北九
州市立大学様との連携の機会を得て、
多くの学生がワクチン接種をするこ
とができました。

3月の学位記授与式、4月の入学

式については、感染対策を講じなが
ら執り行いました。また、新入生オ
リエンテーションの際も、対面とオ
ンラインを組み合わせたハイブリッ
ドな形態で行い、スムーズなオンラ
イン授業への導入と、新入生同士の
友達作りの機会となりました。20
20年4月は入構規制を行い、全て
の授業をオンラインに切り替えまし
たが、昨年は、感染状況に応じて対
面授業を増やしました。

学生の就職活動においては、一昨
年から、企業様のご協力を得て、
「インターンシップ型アルバイト」
という新たな就職支援およびキャリ
ア形成をサポートする活動を展開し、
これまでに30社の企業様に44名の学
生を受け入れていただきました。ま
た、今年3月に実施予定の学内合同
企業説明会にも多くの企業様にご参
加いただく予定で、来年度の就職状
況も良好であると感じていきます。

教育の国際化という面では、この
ような状況のため物理的な行き来は
叶いませんでしたが、オンラインに
よる取り組みは活発に行っており、
今年で9回目となるマレーシアプロ
ト大学との国際共同シンポジウムも
オンラインで実施しました。

オンラインと対面には、それぞれ
メリット、デメリットがあります。
オンラインでは、距離が障害になら
ずに、県外の受験生の皆さん等への
広報や、海外の学生・研究者との交
流が容易になりました。一方で、人
と人が対面することにより生まれる
ものも多くあることにも気付かされ
ました。今年春に、戸畑キャンパス
に産学官の交わりの形成拠点「GYM
LABO」、更に飯塚キャンパスにも
多彩なつながりを作る共創空間が誕
生します。この場所で、新たな研究
や教育に関する産学官連携活動が生
まれることを期待しています。

共同研究に関しましては、本学の
キャンパス内でQinetiQ様と行って
いるローカル5G実証試験に続き、
NICT様によるBeyond 5Gテスト
ベッドの構築場所として、本学の戸

畑キャンパスと飯塚キャンパスが選
定されています。企業・自治体等の
幅広いパートナーとさまざまな実証
を共に推進していきたいと考えてい
ます。

ポストコロナの時代においても、
大学の使命である教育、研究、社会
貢献活動を果たし続けることに注力
して参ります。私達を取り巻く状況
は変化し続けていますが、よく考え、
知恵を出し合うことによつて、この
困難な状況も乗り切り、新たな時代
を創ることができると信じます。
私事ではございますが、今年3月
をもって6年間務めさせていただ
いた学長としての任期が満了となりま
す。これまでの皆様のご協力並びに
ご支援に厚く御礼申し上げます。次
期学長にも変わらぬご協力およびご
支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、新型コロナ
ウイルス感染症の早期終息、ならび
に皆様方のご健康を切にお祈りいた
しまして、新年のご挨拶とさせてい
たきます。